

各 位

会 社 名 シリウス ビジョン 株式会社
 代表者名 代表取締役 辻谷 潤一
 (コード番号: 6276 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役管理本部担当 鬼澤 裕彦
 電話番号 (045)595-9288

減損損失(連結)、貸倒引当金繰入額及び貸倒引当金戻入益の計上(個別)並びに
2025年12月期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）において、下記のとおり特別損失（減損損失、貸倒引当金繰入額）および特別利益（貸倒引当金戻入益）を計上いたしました。

その概要をお知らせするとともに、2025年8月14日に公表いたしました2025年12月期の通期連結業績予想と実績に差異が発生しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 減損損失の内容

2025年8月14日の「減損損失の計上、通期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、当第2四半期連結会計期間におきまして、445百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。当連結会計年度末におきましても、今後の収益性の回復が不透明であることを踏まえ、下期に計上した有形固定資産および無形固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、特別損失に減損損失97百万円を追加計上しました。これにより、連結決算において減損損失として、542百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 貸倒引当金繰入額の内容

連結子会社であるシリウスビジョン上海の財政状態の悪化により2025年12月末時点においては、68百万円の債務超過となりました。そのため同社への債権に対して57百万円の貸倒引当金繰入額を追加計上することいたしました。これにより当社が同社への債権に対して計上した貸倒引当金は68百万円となります。

なお、2025年12月期において、当該貸倒引当金および貸倒引当金繰入額は連結決算においては消去されております。

(3) 貸倒引当金戻入益の内容

当社は、連結子会社である株式会社UniARTSの財政状態の悪化の状況が続いているものの、2025年12月末時点においては、債務超過額が縮小し、31百万円の債務超過となりました。そのため、当社は株式会社UniARTSの債務超過額に対して貸倒引当金戻入益57百万円を計上することいたしました。これにより当社が同社への債権について計上した貸倒引当金は31百万円になります。

なお、2025年12月期において、当該貸倒引当金および貸倒引当金戻入益は連結決算においては消去されております。

2. 予想値と実績値との差異について

(1) 2025年12月期 通期連結業績予想と実績との差異（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,180	△80	△80	△530	△114 円 50 銭
今回実績値 (B)	2,064	△140	△126	△731	△157 円 46 銭
増減額(B - A)	△115	△60	△46	△201	△42 円 96 銭
増減率 (%)	△5.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	2,314	△112	△84	△162	△35 円 13 銭

(2) 差異の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、当社およびシリウスビジョン上海において当初の売上利益計画から乖離が生じ通期連結業績予想を下回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益は、「1. 特別損失の計上について」の通り減損損失を計上し、また2025年12月11日の「希望退職優遇制度の募集結果および特別損失の計上に関するお知らせ」の通り本制度の実施に伴い発生した特別退職金等について事業構造再編費用として特別損失に計上したことにより、2025年8月14日に公表いたしました通期連結業績予想を下回る結果となりました。

以上